

## 希望カフェが1周年 祝賀会盛大に

祝賀会盛大に



「コミュニティカフェ」希望カフェ」中希望が丘93の10日1月で開店1周年を迎えた。1月31日には同所で記念祝賀会が開かれた。写真。

祝賀会には地域住民など関係者や市・県・国会議員ら約60人が招かれた。代表理事を務める田口良生さん「人物風土記で紹介」は、「まだ道半ばだが、これからも地域の方に楽しんでもらえるような場にしていきたい」とあいさつ。参加者らは1周年を祝いながら、交

流を深めていた。手作り作品の出店者であり、スタッフの小林清美さんは「ここに来ると、いろいろな人と話せて楽しい。作品が売れるとうれしいし、励みになる」と話した。希望カフェに関する問い合わせは☎045・465・4169へ。

## 理想の場追い求める

○「やりたいことが、催などを行う地域の交流掘り方もいる。安定して続けたい通りになった。昨年1月に開店した中希望が丘の「希望カフェ」は、手作り作世代交流の姿も見られる。品販売や喫茶、イベント開「開店と同時に来てくれる」目指すはさらに上だ。

## 人物風土記

題字は  
林文子 横浜市長



●開店1周年を迎えた「希望カフェ」の代表理事を務める

## 田口良生さん

四季美台在住 61歳

○「中高年を対象に生きがいづくりなどを啓発する活動にもあまり参加できていないが、地域の講座がいきなりなどを啓発するなどに参加するように。それが健康生きがいづくりアドバイザー」の資格を持つ。「健康生きがいづくりアドバイザー」の資格を持つ。同じ志をもった仲間が、希望カフェの立ち上げメンバーだ。「自己満足ではなく、みんなに楽しんでもらうためにどうするか。試行錯誤しながら運営していく。誤りながら運営していく。ちがいが生まれていった。数が初めてのことだけど、数回訪れた程度だった。やると必ず笑顔が返ってくる。その笑顔が、やりがいにつながる。希望ヶ丘で済みます。「下町っ」○「名古屋の出身で、就職を機に横浜へ。自動車会社でエンジンの設計技術者として仕事に没頭した。退職後の人生について考え始めた。まず目を向けたのが「地域」仕事。筋で自治会活動にもあまり参加できて